

令和2年9月10日

春日市議会議長
松尾 徳 晴 様

広報広聴委員会
委員長 米丸 貴浩

広聴会報告書

実施団体：手をつなぐ育成会かすが

日 時：令和2年8月6日（木）10：30～12：00

場 所：春日市議会議会棟 全員協議会室

出席者：手をつなぐ育成会かすが

辻誓子会長、茨木、御幡、内野（敬称略）

広報広聴委員会

米丸委員長、吉居副委員長、西村委員、原委員、西川委員、白水委員

「広聴概要」

(1) 自己紹介の後、辻会長から「手をつなぐ育成会かすが」について紹介。

- ・春日市にて知的障がいや発達障がいがある人たちの当事者団体として活動。
※参考資料：「手をつなぐ育成会かすかの活動」「ステージinかすが」

(2) コロナウイルス感染拡大に伴う会員向けアンケート調査（2020年7月）について

- ・育成会独自に会員向けアンケート調査を行い、これを集計した。
- ・本人が、親が、また家族が感染したらどうしようとの声が寄せられた。
- ・障がい者向けの情報が分からない。
- ・福祉サービス（ガイド、ヘルパー、訪問看護）がストップまたは時間が少なくなつて困った。
- ・春日市はショートステイなどの社会的資源が少ない上、開けているところもあれば休止の施設もあった。
- ・高齢者に情報取得手段としてインターネットの利用は難しすぎる、紙媒体が必要。

⇒ 制度の隙間にある問題をいかに収集するか、声の収集の在り方を検討しては。

※参考資料：「アンケート調査報告」

(3) 基幹センター（春日市に設置）・地域生活支援拠点整備について

- ・社会資源の不足（働く場や暮らす場が欲しい）
- ・市内4カ所にグループホームがあるが、ニーズも異りそれぞれのキャパが小さい。
- ・基幹相談支援センター設置の情報が少なく、存在を知っている人は少ない。
- ・相談内容に対応する受け皿が整備されていない。
- ・障がい者とその家族が安心して暮らしていけるシステム（地域生活支援拠点整備）を整備していただきたい、コロナでそれを実感した。

(4) 重度心身障がい児者の現状と課題について（医療的ケア・重度心身障害児者からの声）

- ① 入院時の付添負担
- ② 支援学校の通学の送迎負担・医ケア（人工呼吸器使用の子ども）の親の学校待機
- ③ 訪問看護の在宅レスパイト事業
- ④ 災害時の電源確保（医療機器使用のため）・避難について
- ⑤ 春日市では医ケア者が通所できる生活介護施設がない
- ⑥ 親と生活が出来なくなった後の受け入れ先がない
- ⑦ くれよんクラブでの呼吸器使用児の保育の受け入れがない

※参考資料：「医療的ケア・重度身心障害児者から」

- ・障がいに関する情報が全てに届いていない。
若い世代間のグループはあるが市全体のつながりが不足している。
- ・障がい者として日々の生活の厳しさはあるが、何とか当事者の声を伝えなければならない。
- ・障がい者それぞれのニーズが異なるため行政に関わってもらいたい事、当事者が努力しないといけない事がある。地域の中で生きていくことに、全てを行政でやって下さいという話ではない。
- ・活動を通じて、教育の現場はいつも福祉とは別に感じる。
障がい児が抱えている問題で、学校や教育委員会の中で解決していただきたい事があるが、教育の現場は乖離（厳しいハードルがある）している。

⇒ 教育の現場はいつも福祉とは別との意見が寄せられたように、福祉分野とは別にインクルーシブ教育と障がい者について整理することが望ましい。

(5) 春日市の災害対策について（障がいのある人達への配慮）

- ・具体的なアプローチの仕方、練習が必要。具体的な訓練によって何に困っているのかを当事者と共に考えていくことが大事。
- ・地域に住む当事者にとって避難所は、障がいの特性によって対応が異なる。
- ・一時避難所から福祉避難所への移動はどうなるのか、どうするのか。
- ・福祉支援課は理解しても安全安心課は？

⇒ 総合防災訓練の内容に課題（障がい者と家族の参加、地域との関わりなど具体的な支援の在り方）はないか。

「まとめ」

- ・コロナ禍における広聴会の開催には、フェースシールド着用など最大限の配慮を行った。
- ・障がい者にとって春日市は自立した人しか入れないなど、当事者からの厳しくまた切なる声をいただくと同時に、各常任委員会の方と意見交換ができたことに評価も受けた。

「検討課題」

- ・参加者からの意見を議会として認識を共有する手法について。
- ・意見交換は概ね一時間程度と考えるが、今回のテーマ数は4項目で時間超過となった。
テーマ数は3項目以内で調整することが望ましい。
- ・全議員をグループ化して実施する場合、開催希望日に参加できない議員がいる場合は、各委員会から1名の参加が可能となる日程調整に努めることが望ましい。